

# さつまいも育苗のポイント

鹿児島県農政部農産園芸課 / 鹿児島県サツマイモ基腐病対策プロジェクトチーム

## 1 苗床の準備

### □ 前年産育苗の残さは、苗床の外に持ち出しましたか

- 育苗が終了したら、育苗残さを速やかに苗床の外に持ち出しましょう。
- 残さ持ち出し後は、速やかにかつ夏期の高温期に複数回の耕うんを行い、分解を促進しましょう。



### □ 苗床の消毒は、適切に行いましたか

- 適切な農薬や資材を利用して消毒しましょう。
- 地温 15℃以上を確保できる秋期までに消毒しましょう。
- 消毒時には土壌表面をビニールで全面被覆しましょう。

例 バスアミド微粒剤の使用法

適用 病虫害名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数
基腐病	30kg/10a	植付21日前 まで	1回
紫紋羽病	20~30 kg/10a		
つる割病			
白絹病			
ネコブセンチュウ			
一年生雑草			

#### 【バスアミド微粒剤による土壌消毒の効果を高めるための工夫】

- 土を握りしめ、放したら数個に割れる程度の土壌水分を確保
- 土壌にバスアミド微粒剤を均一にまき、土壌混和
- 地温が 20℃の場合、その土壌を 10 ~ 14 日間 ビニールで全面被覆

### □ 基肥として堆肥をすき込みましたか

- 床面積 1 m<sup>2</sup>あたり堆肥 10 ~ 15kg を目安に施用しましょう（地域の基準も参考にしてください）。
- 化成肥料を使用する場合は、床面積 1 m<sup>2</sup>あたり窒素が 20 g，リン酸が 10 g，カリが 13 g とし、土とよく <sup>かくはん</sup> 攪拌しましょう。

### □ 完熟堆肥を施用しましたか

- 未熟堆肥は、種いもの腐敗や根腐れを起こす場合があります。

## 2-1 種いも伏せ込み育苗

### □ 植付までの育苗期間を考慮して伏せ込み時期を決めましたか

- 苗床の面積は、採苗回数と栽培面積、品種によって決まるため、余裕をもって広めに準備しましょう。

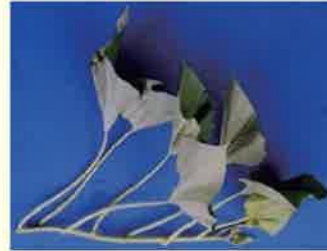
育苗期間の目安

育苗時期	伏せ込み～1回目の採苗
1～2月	60日間
3月	50日間

### □ 伏せ込み間隔は適正ですか

- 茎が太く、葉が立った“がっちり苗”を作るため、品種の萌芽性に応じた伏せ込み間隔にしましょう。

- ※ 伏せ込み間隔が適正であると、1株から採れる苗数が多く、伏せ込み間隔が狭いと、1株から採れる苗数が少なくなります。



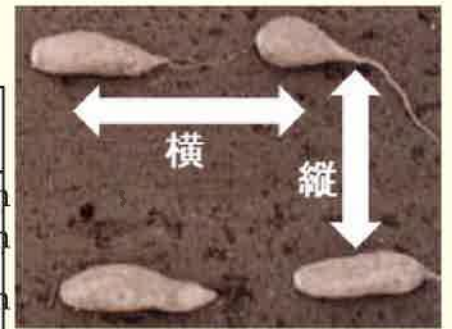
“がっちり苗”



“軟弱苗”

品種に応じた伏せ込み間隔の基準

品種	萌芽数 (本/株)	伏せ込み間隔
シロユタカ, シロサツマ	24	縦30cm×横30cm
ダイチノユメ	15	縦25cm×横25cm
コガネセンガン, こないしん 高系14号(ベニサツマ), ベにはるか	10	縦20cm×横20cm



### □ 種いもが隠れる程度に覆土し、保温対策を行いましたか



種いもを覆土し、十分にかん水



ポリマルチをして地温確保、保水



1～2月の伏せ込みはハウス+トンネル

### □ 萌芽後に、芽の日焼け防止の対策を行いましたか



萌芽し始めたら、ポリマルチに穴をあける



萌芽が揃ったら、ポリマルチを除去

### □ 温暖な日の午前中に床面が乾かない程度にかん水しましたか

### □ 伏せ込み直後～萌芽後の床温は28～33℃、萌芽後の気温は昼間25～30℃、夜間15℃で管理していますか

## 2-2 バイオ苗育苗

### □ 植付までの育苗期間を考慮してバイオ苗を挿す時期を決めましたか

- 必要な苗数及び採苗の開始時期に応じて、育苗計画をたてましょう。

育苗期間の目安

作型	育苗時期	採苗(本ぽ定植)
超早掘用	8~12月	12~3月
早掘・普通掘・貯蔵用	11月下旬~4月	4~6月

### □ 栽植間隔は適正ですか

- ポット苗や挿し苗の植栽間隔は、[条間]20(~25)cm, [株間]20(~25)cmにすると、茎が太く、葉が立った“がっちり苗”になります。

### □ 苗床の保温対策を、適切に行いましたか

- 気温は昼間 30℃, 夜間 20℃を目安に管理しましょう。
- 1~2月の低温期に育苗する場合、次のア, イのうちいずれかの方法に取り組みましょう。

ア 「ハウス+トンネル」



イ 「ハウス+電熱線+マルチ」



電熱線の埋め戻し

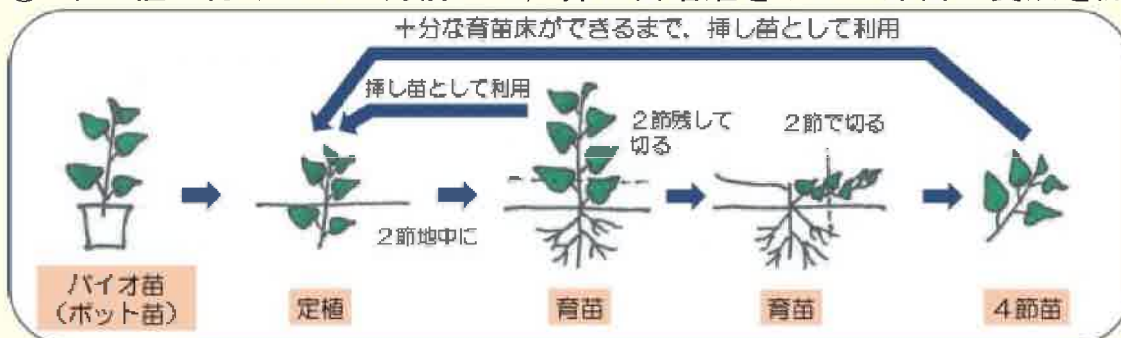


マルチ被覆

### □ 温暖な日の午前中に床面が乾かない程度にかん水しましたか

#### 【挿し苗増殖(例)】

- ① 挿し苗増殖用の苗の下2節が、土中に埋まるよう挿して、かん水する。
- ② 活着するまでの3日間はビニール等で密閉する。
- ③ 同時に不織布や黒寒冷紗で7日間程度遮光する。
- ④ 活着後の主枝が6節以上に伸張したら、基部から2~3節残して採苗する。
- ⑤ 腋芽を伸ばし、採苗した4節苗を挿し苗として増殖を繰り返す。
- ⑥ 本ぽ植え付けの1か月前には、挿し苗増殖をやめ8節苗の養成を開始する。



※ 繰り返しこの作業を行い、必要本数を確保

### 3 採苗

□ 地際部から5cm(2~3節)以上の高さで採苗しましたか

○ 基腐病等の感染を抑えるため、地際部から5cm(2~3節)以上の高さの位置で採苗しましょう。

□ 採苗するハサミの刃先を定期的に殺菌・消毒しましたか

○ ハサミの刃先を定期的にバーナー等であぶって殺菌・消毒しましょう。

### 4 植付用苗の消毒

□ 採苗後速やかに苗消毒しましたか

○ 採苗後速やかに、苗全体をベンレート500倍希釈液などに30分間浸漬しましょう。

□ 薬液は、使用日ごとに毎回調製しましたか

○ 薬液は、日光や汚れなどで、成分が分解し効果が減少するため、使用日ごとに毎回調製しましょう。



#### 苗床管理中の生育診断(例)

##### ① 芽が出ない

症状	考えられる原因	考えられる原因		
		軟腐病・基腐病	苗床の温度が低い	冠水いも(水腐れ)
いもが腐っている		○		
いもが硬くしっかりしている			○	○

##### ③ 葉の異常

症状	考えられる原因	苗床が			種いもが小さい
		高温	低温	多湿	
小さく薄い			○		○
展開葉より芽先が突き出て長い		○		○	
葉焼け(白変)		○			
葉焼け(褐変)			○		

##### ② 萌芽揃いが悪い

症状	考えられる原因	苗床の温度が		種いもの障害	かん水が不足
		低い	不均一		
芽立ちが悪い		○		○	
根が出ない		○			○
芽立ちがまばら		○	○		
芽の伸びが悪い		○		○	○

##### ④ 茎の異常

症状	考えられる原因	苗床が				密植	種いもが小さい	肥料不足
		過湿(多湿)	乾燥	高温	低温			
細くて柔らかい		○				○		
細くて硬い			○				○	○
太くて柔らかい		○		○				
基部(根元)の節間が長い		○		○	初期			
太くて節間が短い			○		○			